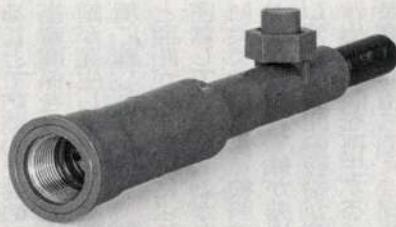


# 画期的ノズル「スカッシュ」 MRT



スカッシュ。水道ホースに取り付けるだけで驚きの効果がある



スカッシュを付けて散水する島根県の野菜農家

具体的にはトマト農家（フルティカ）での実験で、機器を使わなかった2020年度が総収穫量1万423kg、糖度8%であったのに対し、機器を使った2021年産は同じ1万1908kg、糖度12%であった。

増すれば、今まで以上の成果が得られると判断したのは、大阪公立大学での委託実験（イチゴ）および島根県の農家との実験（トマト）を行った結果です」と塚本社長は話す。

塚本社長は「農業資材等の高騰で農家の皆様は苦労されている。できるだけ多くの農家にスカッシュを届けたいので、2万円前後の価格設定を考えている」と力を込める。問い合わせは同社（☎ 72-992-5452）まで。

（株）MRT（塚本耕也社長・大阪府八尾市老原2の1-19）は、農業用ファインバブル発生ノズル「スカッシュ」の特許を取得し、販売の準備を始めていた。昨今、浴室のシャワーヘッドを取り換えて、特殊なバブルを放出する機器が話題となっている。その効果は異なるが、スカッシュはこれの農業版といえる。同品を水道ホースに取り付け、各種作物に散水するだけで、「糖度が上がる」正型果の収穫量が増える」という主に2点の効果が得られる。

現在、市販のファインバブル生成機器では、1立方mの水の中に約600個、多くて1億個のファインバブルを生成する。塚本社長は「1億個を出す機器は大掛かりな構造かつ高額で、農家は導入しにくい。従ってまずは簡単な構造で、しかも、大きくなるといつも2億個以上を出すものを作った」と話す。

すでに「1億個未満の機器」を導入済みの農家は、作物の生育が早くなる、大きくなるといつも効果を見出している。しかし「2億個以上の機器」はこれらに加えて「糖度が上がる」、「正型果の収穫量が増える」ことに成功した。

「ファインバブルが倍

## 糖度向上に貢献 シンプルなファインバブル生成 構造と価格で



### 管理機で快適草取り

宮丸アタッチメント研究所

### 根こそぎ除草のブルースペイラル

（株）宮丸アタッチメント研究所（宮丸雅博社長・広島県福山市明神町2の22）が製造・販売するプロ農家向けの草刈り機「ブルースペイラル650」は、雑草を根こそぎ

刈り取ることで草刈り作業による疲労を軽減する。また、車輪の「受けラーリー」を装着することで、車軸の「受け」が可能である。さらに、草軸を力バーチからまんカラ転しない構造によって、連続した草の巻き付きが可能である。そのため耕うねりを防ぐことができる。刈り取った草部に草が留まることができる。刈り作業の頻度が減少する。

0-00-0000-0000

0-00-0000-0000